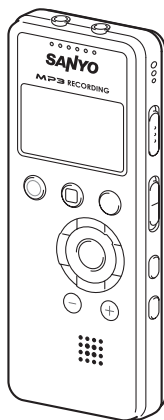
取扱説明書

保証書付

IC レコーダー
品番 ICR-B001M

はじめに
準 備
録 音
再 生
消 去
タイマー
分 割
設 定
パソコン
困ったときは
資 料

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。お読みになった後は、すぐに見られる場所に保管してください。
この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」、「販売店」などが正しく記載されているか必ずご確認いただき、販売店からお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。梱包箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失利益、ご使用に要した第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△	「注意 (警告を含む) をうながす事項」を示します。
⃠	「してはいけない行為 (禁止事項)」を示します。

本体について

⚠警告

■分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。
始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠注意

■電磁波の強い場所では使用しない

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

■磁気の発生や影響する場所に近づけない

磁気の発生する機器の近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

■使用しているときは、SD カードを抜かない

本体を使用しているときには SD カードを抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

電池について

⚠注意

■電池は正しく入れる

電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■長時間入れたままにしない

長時間 (1 週間程度) 使用しないときは電池を取り出しておいてください。
電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。
電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■使用しているときに電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには電池を抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

■録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

- **録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら**
  すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。

- **電池が液漏れしたとき**
  液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

- **電波障害自主規制について**
  この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

- **著作権について**
  放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
  あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。

必ずお読みください

■本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。
2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。
3. 電池の残量が充分にある電池をお使いください。

本機およびパソコン、カードリーダー / ライターの不具合により、転送やダウンロードできなかった場合、また、SD カードの破損やファイルの破損などでファイル内容が消失した場合の補償はいたしません。また、修理でのデータ消失を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

商標および登録商標についての注意

・ Microsoft、Windows Media™ および Window® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
・ Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

・ SD ロゴおよび SDHC ロゴは商標です。
・ その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

■時計表示について

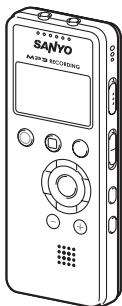
本機の時計表示は、長い期間使用していると誤差が生じる場合があります。定期的にカレンダ設定をされることをおすすめします。
また、タイマー予約録音をする前には、時報などで正確な時刻を設定してください。（☞ 19 ページ）

※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

使用済み電池について
使用済みの電池は、ショートするのを防ぐため、プラス極とマイナス極をセロハンテープで絶縁してから、各地方自治体の定める条例に従って廃棄してください。

はじめに

付属品を確認する

■IC レコーダー本体　1

■単 4 形アルカリ乾電池　1

■本書（保証書付）　1

メモ
- 付属の電池は寿命が短いことがあります。
- リモコン付きなどの4極プラグ端子ステレオヘッドホンは使用できません。
- **SDカードやイヤホンは別売です。**

各部の名称

本体

［前面］

ステレオヘッドホン端子

録音 LED ランプ
☞ 40 ページ

フォルダ / AB
（リピート）ボタン

停止ボタン

録音ボタン

▶OK（再生）ボタン

⏮（早戻し）ボタン

⏭（早送り）ボタン

音量ボタン（－）

外部入力（マイク / ライン）端子

内蔵モノラルマイク

パワー(電源)/ ホールドスイッチ

液晶画面

シーンセレクト(マイク感度)
スイッチ

音量ボタン（＋）

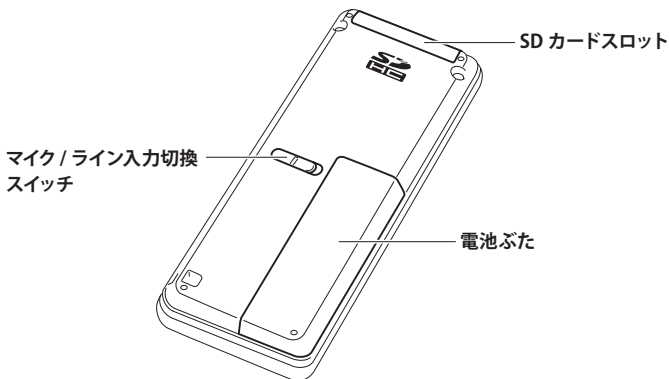
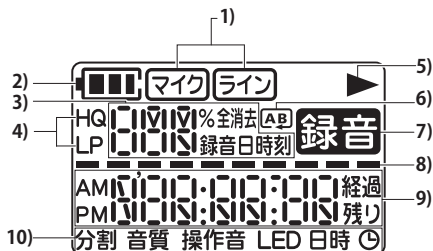
メニューボタン

消去ボタン

スピーカー

再生スピード（－ / ＋）ボタン

［背面］

液晶画面の表示

1) フォルダ名（音声の保存場所）
（☞ **11 ページ**）

マイク：マイクで録音したファイルの保存場所です。

ライン：他の機器から録音したファイルの保存場所です。

2) 電池残量

：残量少ない
：↑
：↓
：残量多い

3) 各種情報表示

録音した音声のファイル番号などが表示されます。

4) 録音音質表示（☞ **36 ページ**）

HQ：高音質モード（192kbps）

HQ LP：標準音質モード（64kbps）

LP：長時間モード（32kbps）

5) 再生中表示（▶）（☞ **25 ページ**）

6) 繰り返し再生（リピート）表示
（☞ **27 ページ**）

：再生中の曲を繰り返します。

全 ：フォルダ内のすべてのファイルを繰り返します。

AB：1 つのファイル内の、設定した 2 点間を繰り返します。

7) 録音中表示（録音）（☞ **21 ページ**）

8) 見えるメーター（レベルメーター）

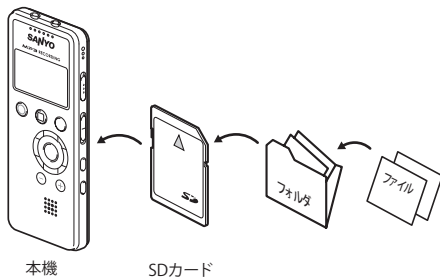
録音状態、SD カードの残量、再生の進捗状況、音量の設定時などに表示されます。

9) 各種情報表示

時間表示などが表示されます。

10) メインメニュー設定項目
（☞ **37 ページ**）

ファイルとフォルダについて

1 回の録音でできた音声データを「ファイル」、複数のファイルを分類して入れておくための保存場所を「フォルダ」と呼びます。

・ ファイル
録音して停止すると、ファイルが作成されます。録音順に 1、2、3…と、ファイルに番号が付きます。

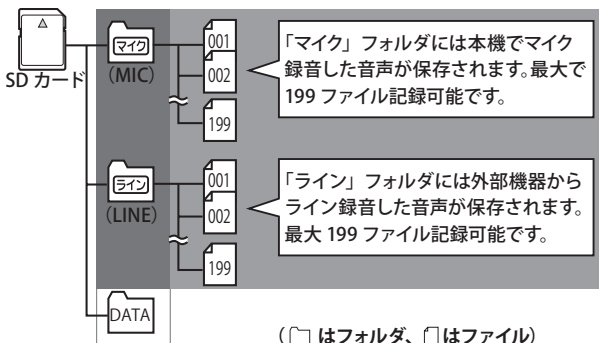
・ フォルダ
本機には「マイク（MIC）」、「ライン（LINE）」の 2 つのフォルダがあります。それぞれにファイルが保存できます。

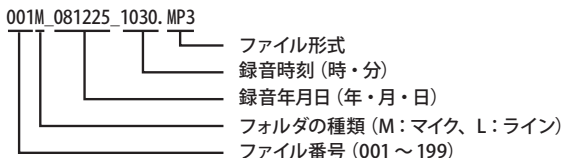
メモ 本機では見えませんが、パソコンのデータを保存するための「データ（DATA）」フォルダもあります。（☞ 44ページ）

はじめに

録音用フォルダについて

本機で録音する時に使うフォルダです。マイクで録音した音声が保存される「マイク」フォルダと、外部機器からライン録音した音声が保存される「ライン」フォルダがあります。

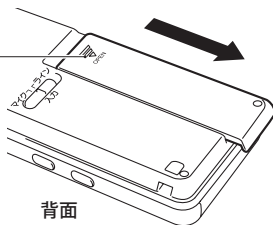
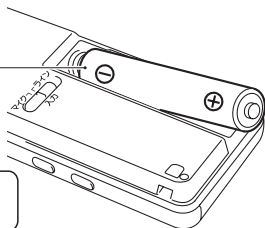
（ はフォルダ、 はファイル）

録音したファイルの名前について

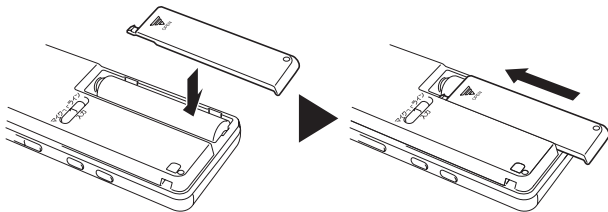
本機で録音したファイルは次の構成で自動的に名前がつきます

- 本機では上記ファイル名の内、ファイル番号のみ表示されます。ファイル名はパソコン上で確認できます。
- 何度録音しても上書きはされず、各ファイルは消えません。
- 本機で録音したファイルの名前をパソコンで変更した場合、再生できなくなります。上記のファイル名ルールに従った名前に変更して再生してください。
- 最大ファイル数（199 ファイル）を超えて録音することはできません。制限を越えて録音しようとすると、「FULL」と表示されます。その場合は不要なファイルを削除してください。

準備をする

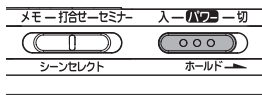
電池を入れる

ご注意　電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったまま電池を出し入れすると、故障やデータ破損のおそれがあります。

1 電池ぶたの図の部分を軽く押さえながら、矢印の方向にすべらせます。

2 単 4 形アルカリ乾電池を入れます。

ご注意　電池の向きに注意してください。

3 電池ぶたを閉じます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

本機側面のパワー（電源）／ホールドスイッチを「入」側に動かします。

電源が入ると、次のように画面が切り換わります。

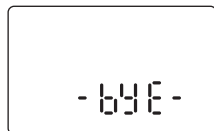
バージョン表示　**起動中**　**操作画面**

※ 画面は表示例です。
操作画面は、前回、電源を切る前に表示していた画面が表示されます。（レジューム機能）

メモ
- SDカード内のファイル数が増えると、操作画面が表示されるまでの時間が長くなります。
- SDカードが本機に入っていない場合、本機の電源を入れたときに「NO-Sd」と表示され、操作できません。必ずSDカードを入れてください。

電源を切る

本機側面のパワー（電源）／ホールドスイッチを「切」側に動かします。

次の画面が表示され、電源が切れます。

電池の残量表示について

電池の残量が表示されます。

残量多い ←→ 残量少ない

電池が切れると、「Lo bAT」と表示された後、自動で電源が切れます。

メモ 周囲の温度や使用状況によって電池残量の表示が変わることがあります。表示はおよその目安とお考えください。

ご注意
- 使用済みの電池は、ショートするのを防ぐため、プラス極とマイナス極をセロハンテープで絶縁してから、各地方自治体の定める条例に従って廃棄してください。
- **電池残量がほとんど無い場合でも電源を入れ直すと、実際の残量よりも多く表示されることがあります。この状態で録音や予約録音をすると、録音の途中で電池が切れて録音が中断されることがありますので、ご注意ください。**

オートパワーオフ機能

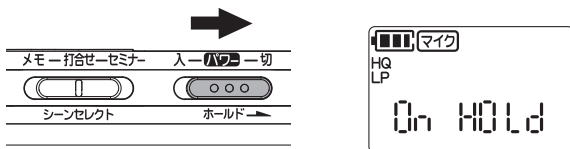
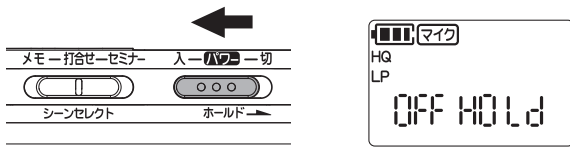
電源を入れて停止状態のまま 30 分間放置すると、自動で電源が切れます。
電源を入れ直すには、パワー（電源）／ホールドスイッチを「切」にしてからもう一度「入」にします。

レジューム機能

電源が切れる前に選択していたフォルダ、ファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。
ただし、以下のような場合には、レジューム機能は働きません。
・電源オフ操作を行わずに、電池または SD カードを抜いたとき
・電源オン後に SD カードを挿入したとき

誤操作を防止する（ホールド機能）

ポケットに本機を入れて使うときなどに、意図せずボタンが押されてしまう誤操作や、誤操作による無駄な電池の消耗を防ぐことができます。

再生中や録音中にパワー（電源）／ホールドスイッチを下図の ➡ 方向（切側）にすると、次の画面が表示されてボタン操作ができなくなります。

パワー（電源）／ホールドスイッチを下図の ⬅ の方向（入側）にすると、次の画面が表示されて操作できるようになります。

メモ

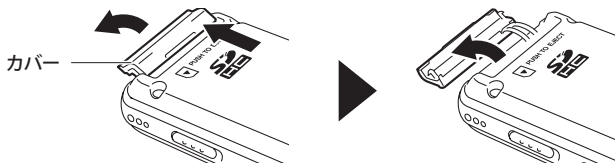
- シーンセレクト（マイク感度）スイッチおよびマイク／ライン入力切換スイッチは、ホールド機能がOnになっていても、ホールド機能は働きません。
- ホールド機能がOnの状態で、録音や再生が終了すると自動的に電源が切れます。

SD カードを出し入れする

録音したファイルはすべて SD カードに記録されます。お使いになる前に、SD カードが正しく差し込まれていることを確認してください。

1 パワー（電源）／ホールドスイッチが「切」になっていることを確認します。（☞ 14 ページ）

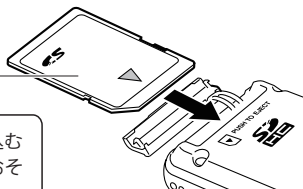
2 SD カードスロットのカバーを開きます。

カバーを大きく開いてください。

ご注意　カバーを強く引っぱり過ぎないでください。破損のおそれがあります。

3 〈SD カードを入れるとき〉

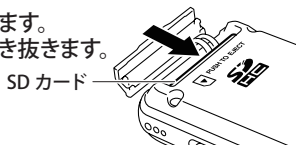
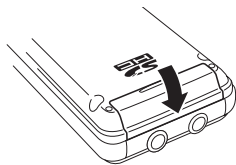
カードの向きに注意して SD カードスロットに差し込みます。

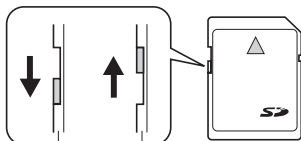
「カチッ」と音がするまで押し込みます。

向きに注意！

ご注意　間違った向きでSDカードを差し込むと、本機やSDカードが破損するおそれがあります。

〈SD カードを取り出すとき〉

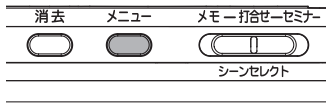
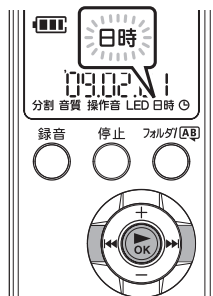
矢印の方向に SD カードを押し込みます。

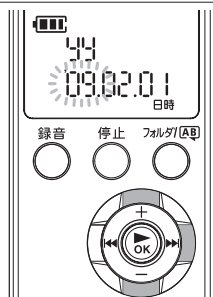
SD カードが出てきたら、ゆっくり引き抜きます。

4 カバーを閉めます。

SD カードの取り扱いに関するご注意

● 端子部分に直接触れたり、金属や堅い物を当てたり、ショートさせたりしないでください。静電気などによりデータが破損、消失するおそれがあります。
● SD カードの出し入れは本機の電源を切ってから行なってください。データの破損や故障の原因になることがあります。
● SD カードは本機に正しい向きで奥までしっかり差し込んでください。誤った向きで差し込んだり、差し込みが不十分な場合、正常に動作しません。
● カードの着脱が完全に終わるまでカードから指を離さないでください。
カードを完全に着脱する前にカードから指を離すと、カードが勢いよく飛び出し、カードの紛失やカードが目に当たってけがをする場合があります。
● 本機で SD カードを使用するときは、事前に必ず本機でフォーマット（初期化）を行ってください。（☞ 30 ページ「消去する」の ALL ERASE）
他の IC レコーダーやパソコンでフォーマットした SD カードは、本機では使用できないことがあります。
● 本機で使用可能な SD カードは、容量が 512MB 〜 2GB の SD カードおよび、4GB、8GB の SDHC カードまでのものです（2009 年 2 月現在）。SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。当社基準において動作確認済のカードについては、「動作確認済み SD/SDHC カード」（☞ 54 ページ）または、当社ユーザーサポートページでご確認ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html
● SDカードがロックされているときは、ファイルの録音、消去、分割はできません。
● SD カードを本機に差し込む際に、ロックされてしまうことがありますのでご注意ください。
●ロックを解除するには、カード側面のつまみを図の「ロックを解除した状態」の位置に動かしてください。

日時を設定する

日付と時刻を設定しておくと、録音時に「録音した日付と時刻」の情報がファイルに自動で記録されます（タイムスタンプ機能）。また、ファイル名に録音日時の情報が入りますので、正確に日時設定しておくことをおすすめします。

準備

1 電源を入れ、[メニュー] ボタンを押します。

2 [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して「日時」を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

3 [＋] ボタンや [−] ボタンを押して年（yy）を設定し、[⏭（早送り）] ボタンを押します。

ここでは、2009 年 3 月 25 日 PM5 時 3 分に設定します。

メモ 西暦の下2桁に設定してください。（2009年なら「09」）

4 手順 3 と同じ操作で、月(MM) と日(dd) を設定します。

日を設定して [▶▶| (早送り)] ボタンを押すと、「24H」 (24 時間表示) と 「12H」 (12 時間表示) が表示されます。

メモ 前の設定項目に戻るには、[|◀◀(早戻し)]を押します。

5 [+] ボタンや [−] ボタンを押して時間の表示方法を選び、[▶▶| (早送り)] ボタンを押します。

点滅している方が、現在、選択している表示方法です。

6 手順 3 と同じ操作で、時 (HH) と分 (MM) を設定し、[▶OK (再生)] ボタンを押します。

これで日時の設定は完了です。

メモ
- 長時間使用して時刻がずれたときは、設定し直してください。
- 電池を抜いて約5分経過すると、日時が出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は設定し直してください。

録音する

マイクで録音する方法と、外部機器から録音する方法があります。

メモ
- 録音中、ヘッドホンから録音している音声をモニタできます。[＋]や[－]ボタンで音量調節できます。
- 本機の内蔵マイクで録音した音声はモノラルになりますが、外部ステレオマイクを使用すると、HQ / HQLP モードではステレオで録音できます。

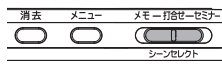
マイク録音する

1 **電源を入れます。**（☞ 14 ページ）

---

2 **録音する状況に合わせてマイク感度を設定します。**
本機側面の [シーンセレクト（マイク感度）] スイッチを切り換えます。

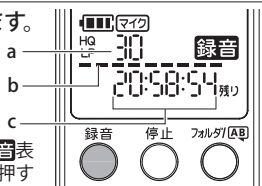
- メモ　：低感度。本機をマイクのようにして音源に近づけて録音するときに使用します。
- 打合せ：中感度。数人でテーブルを囲んでの会話などを録音するときに使用します。
- セミナー：高感度。会議室や講堂など、広い場所で録音するときに使用します。

消去　メニュー　メモ ー 打合せー セミナー
シーンセレクト

メモ 録音中でもマイクの感度は切り換えられます。

---

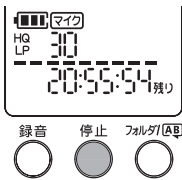
3 **[録音] ボタンを押して録音を開始します。**

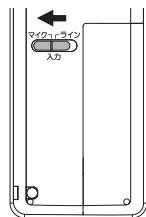
a ： 録音しているファイル番号
b ： 入力レベルメーター
c ： 録音残時間

マイク　HQ　LP　録音　残り
a　b　c
録音　停止　フォルダ/AB

メモ
- 録音中に再度[録音]ボタンを押すと、録音表示が点滅し一時停止になります。もう一度押すと、録音が再開されます。また、一時停止のまま約30分放置すると、録音を終了し、本機の電源が切れます。
- 録音中に ⏭（早送り）を押すごとに、bの表示が入力レベルメーター表示→録音残時間表示の順に切り換わります。
- 録音中に ⏮（早戻し）を押すごとに、cの表示が録音残時間→録音経過時間の順に切り換わります。

4 録音を終了するときは [停止] ボタンを押します。

これで録音は完了です。

メモ ・ 音質を良くしたいときや長時間録音したいときなどは、音質を変更してください。(☞ 36ページ)

外部マイクを使用する

外部マイクを使用して録音するときは、事前に本機の外部入力端子に外部マイクを接続し、本機背面の［マイク／ライン入力切換］スイッチを「マイク」側に切り換えてください。

外部マイク

外部マイク（別売品）のご紹介

ステレオ 3WAY マイク
HM-250

携帯電話、ビジネスホンや家庭用固定電話の録音、バイノーラル録音、ポケット録音に対応した多機能 3WAY マイク。

タイピン式ステレオマイク

胸ポケットに入れたまま録音でき、鞄に入れてマイク部だけ出して録音するときなどに効果を発揮します。

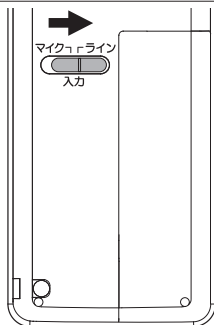
メモ ・ ステレオ外部マイクを使用される場合は下記仕様をおすすめします。（保証値ではありません）
-形式：エレクトレットコンデンサー/※プラグインパワー方式
-インピーダンス：2kΩ
-電源：1.3Vにて動作保証品
-プラグ：ミニプラグ（3.5Φ）
※プラグインパワー方式は、ICレコーダー本体から電源を供給する方式です。
・推奨仕様以外のステレオ外部マイクを使用された場合、録音感度が低いなど、うまく録音できないことがあります。

外部機器から録音する

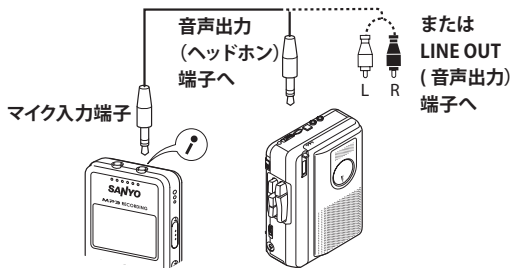
CD・MD プレーヤーやラジカセ、コンポなどの外部機器で再生した音楽などを録音できます。

メモ 外部機器で再生している音声に2秒以上の無音部分がある場合に、自動的にファイルを分割して録音できます。（☞ 41ページ）

1 電源を入れます。（☞ 14 ページ）

2 本機背面の［マイク／ライン入力切換］スイッチを「ライン」側に切り換えます。

3 市販のオーディオケーブルを使って、本機の外部入力端子に外部機器の音声出力（ヘッドホン）端子を接続します。

オーディオケーブル（ステレオミニプラグ：3.5 φ、抵抗なし）を使用してください。

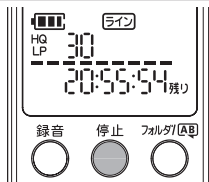
録音

4 必要に応じて本機の録音音質を変更します。（☞ 36 ページ）

5 外部機器の再生を開始します。

6 本機の［録音］ボタンを押して録音を開始します。

入力レベルメーター

メモ
- 試し録音を行って、外部機器の再生音量を調整してください。**本機で再生した時の音量が小さい場合は、入力レベルメーターが右端に振れる位まで、外部機器の音量を上げて録音してください。**
- 録音中に［ ⏭（早送り）］ボタンを押すと、入力レベルメーターの表示と録音残時間表示を切り換えることができます。
- 録音中に［ ⏮（早戻し）］ボタンを押すと、録音可能時間と録音経過時間の表示が切り換わります。

7 録音を終了するときは［停止］ボタンを押します。

これで録音は完了です。

メモ 再生側の音量が最大でも、ライン録音した音が小さい場合、［マイク/ライン入力切換］スイッチを「マイク」に設定し、録音レベルを調整して録音してください。この場合は、「マイク」フォルダに保存されます。

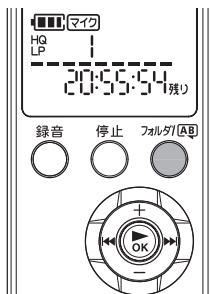
再生する

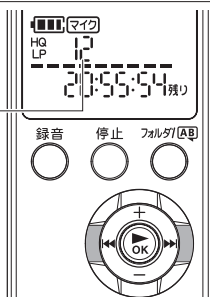
録音したファイルを再生します。

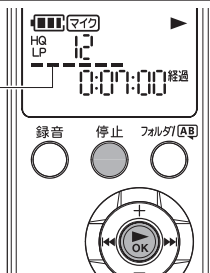
ファイルを再生する

1 [フォルダ/AB（リピート）] ボタンを押して、再生したいファイルの入っているフォルダを選びます。

マイク：マイクで録音したファイルの保存場所です。

ライン：他の機器から録音したファイルの保存場所です。

2 [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して、再生したいファイルの番号を選びます。

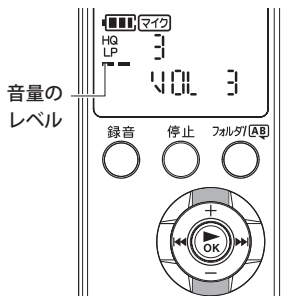
ファイル番号

3 [▶OK（再生）] ボタンを押して再生を開始します。
再生を終了するときは［停止］ボタンを押します。

再生の進捗状況の表示

メモ 続けて同じファイルを再生すると、停止した位置から再生が再開されます。

再生中にできること

音量の調整

電源が入った状態で、[＋] ボタンや [ー] ボタンを押して調整します。
音量 (VOL) は、0 ～ 20 の範囲で設定できます。

ご注意 録音状況や音源によって最適な音量が異なります。音量は大きくしすぎないよう、少しずつ上げてください。

早送り

再生中に [▶▶| (早送り)] ボタンを 1 秒以上押し続けると、早送りが始まります。早送り開始後は、指を離しても早送りは継続されます。
通常の再生速度に戻すには [▶OK（再生）] ボタンを押します。

早戻し

再生中に [|◀◀ (早戻し)] ボタンを 1 秒以上押し続けると、早戻しが始まります。早戻し開始後は、指を離しても早戻しは継続されます。
通常の再生速度に戻すには [▶OK（再生）] ボタンを押します。

ファイル送り

[▶▶| (早送り)] ボタンを押すと、次のファイルの先頭に飛びます。

ファイル戻し

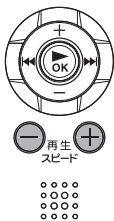
[|◀◀ (早戻し)] ボタンを押すと、再生中のファイルの先頭に戻ります。続けて [|◀◀ (早戻し)] ボタンを押すと、一つ前のファイルの先頭に飛びます。

再生スピードの変更

再生中、[再生スピード ⊕] ボタンを押すと、通常再生（100%）の 150%の速さで再生します。

再生中、[⊖ 再生スピード] ボタンを押すと、通常再生（100%）の 75%の速さで再生します。

75% ⟷ 100%（通常再生）⟷ 150%で再生スピードが切り換わります。

メモ
- ファイルによっては、正常に再生できないことがあります。
- 通常再生（100%）に戻すには、[再生スピード ⊕] / [⊖ 再生スピード]ボタンを押してください。

5 秒前再生

再生中、[▶OK（再生）] ボタンを押すと、5 秒前から再生し直します。
短いフレーズや聞き取れなかったところをちょっと戻って聞き直したいときに便利です。

リピート再生（繰り返し再生）

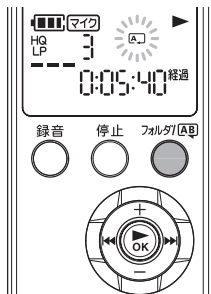
1 つのファイルを繰り返して再生したり、フォルダの中の全ファイルを繰り返して再生することができます。
停止中または再生中に［フォルダ/AB（リピート）］ボタンを **2 秒以上**押すごとにリピードモードが切り換わります。

：選択している 1 つのファイルだけを繰り返し再生します。
全 ：選択しているフォルダ内の全ファイルを繰り返し再生します。フォルダをまたいでの設定はできません。
表示無し ：通常の再生です。最終ファイルの再生終了後は停止状態になります。

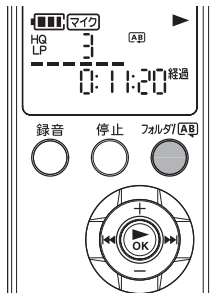
再生

再生しているファイルの2点間の繰り返し（A-Bリピート）

1 **ファイルの再生中、繰り返しの開始位置で[フォルダ/AB（リピート）]ボタンを1回押します。**

「A」が点滅します。

2 **繰り返しの終了位置でもう一度[フォルダ/AB（リピート）]ボタンを1回押します。**

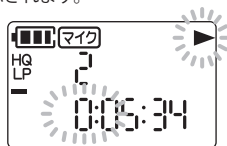
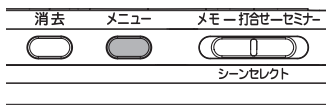
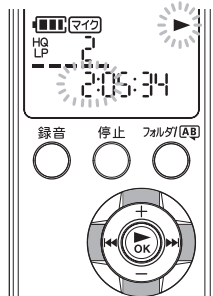
「AB」が表示されれば、正しく設定されています。

設定した2点間が繰り返し再生されます。

メモ

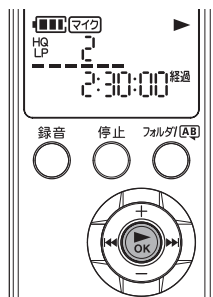
- 解除するときは、もう一度[フォルダ/AB（リピート）]ボタンを押して「AB」を消します。
- [停止]ボタンを押して再生を停止した場合や、早送り、早戻しした場合も、設定は解除されます。
- A点とB点の間隔が短すぎる場合、A-Bリピートの設定ができません。
- A点を設定後、B点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾がB点になります。
- ファイルをまたがってのA-Bリピート設定はできません。

指定位置からの再生（時間指定サーチ）

再生の開始位置（開始時間）を指定できます。

1 **ファイルの再生中、[メニュー] ボタンを押します。**
再生が停止され、現在の再生位置（時間）が表示されます。

2 **指定時間を設定します。**
①[⏮（早戻し）][⏭（早送り）] を押して、「時」「分」「秒」を選択します。
②[音量+/−] ボタンを押して、数値を変更します。

3 **[▶OK（再生）] ボタンを押します。**
指定した場所から再生が始まります。

メモ この設定は再生中のファイルに対してのみ有効です。また、設定内容は保存されません。

再生

消去する

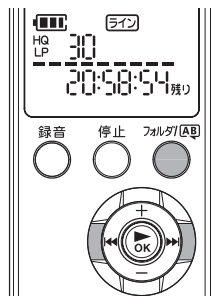
不要なファイルを消します。
消去方法は 3 種類あります。

- FILE ：ファイルを 1 つだけ選んで消去します。
- FOLdER ：選択したフォルダ内の全ファイルを消去します。
- ALL ERASE：SD カード内のすべてのデータを消去します。（フォーマット）

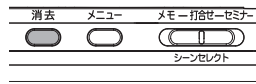
ご注意
- **消去したファイルは元に戻せません。消去する前に不要なファイルかどうか必ず確認してください。**
- この操作を行う前に、電池の残量が充分にあることを確認してください。
- ファイル消去では、本機で再生可能なファイルのみ消去できます。ただし、ファイル属性が"読み取り専用"のファイルを消去しようとすると、"ERROR"が表示され、削除できません。その場合は、市販のSDカードリーダー/ライターを使用して、パソコン上で削除してください。
- フォルダ消去では、本機で再生可能なファイルが入ったフォルダのみ消去できます。
- "Sd LOCk "と表示された場合は、SDカードのロックを解除してください。(☞ 18ページ)

1 [フォルダ/AB（リピート）] ボタンを押して消去したいフォルダ、または消去したいファイルの入っているフォルダを選択します。

2 [◀◀（早戻し）] ボタンや [▶▶|（早送り）] ボタンを押して消去したいファイルを選択します。

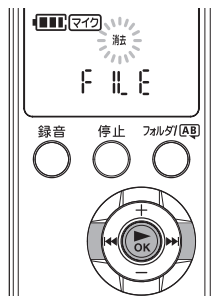
消去方法を「FOLdER 」や「ALL ERASE」にする場合は、この操作は必要ありません。

3 [消去] ボタンを押します。

メモ 以降の操作を途中で止めるときは、もう一度 [**消去**]ボタンを押します。

消去　メニュー　メモ ー 打合せーセミナー
シーンセレクト

4 [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して消去方法を選び、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

「FILE」、「FOLdER」、「ALL ERASE」 の 3 種類から選びます。ここでは、1 件消去を選びます。

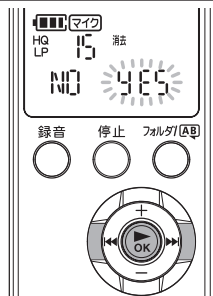
FOLDER
(フォルダ消去）

ALL ERASE
（フォーマット）

ご注意　ファイルを1つだけ消去したい時に誤って「FOLdER」や「ALL ERASE」を選択しないよう、よく確認してください。

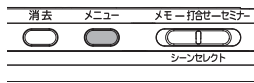
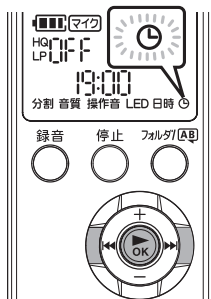
5 [⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して「YES」を選び、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

メモ　「NO」を選ぶと、手順4に戻ります。

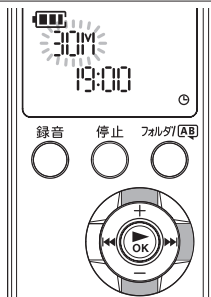
「ERASE」と表示された後で「Ok」と表示されたら、消去は完了です。

ご注意　フォルダ消去は、フォルダの中のファイルを消去しますが、フォルダは削除できません。

決まった時間に録音する（タイマー）

指定した時刻に自動的に録音することができます。

1 停止中、［メニュー］ボタンを押します。

2 ［⏮（早戻し）］ボタンや［⏭（早送り）］ボタンを押して「◷」を選択し、［▶OK（再生）］ボタンを押します。

3 ［＋］ボタンや［－］ボタンを押して録音時間を選択し、［⏭（早送り）］ボタンを押します。

- 30M ：30 分
- 1H ：1 時間
- 2H ：2 時間
- ALL ：空き容量一杯まで
- OFF ：タイマー設定を無効にします

メモ 「OFF」を選択すると、タイマー設定は無効になります。

4 [＋] ボタンや [－] ボタンを押して録音を開始する時間の「時」を指定し、[▶▶| (早送り)] ボタンを押します。

5 [＋] ボタンや [－] ボタンを押して録音を開始する「分」を指定し、[▶OK (再生)] ボタンを押します。

画面右下に「 ◷ 」が表示されたら、設定は完了です。
指定時刻の 1 分前に自動で電源が入り、タイマー録音の待機状態になります。このとき、「録音」と「◷」が点滅し、レベルメーターが 6 秒ごとに 1 目盛ずつ消えていきます。
録音が始まって設定した時間が経過すると、録音を自動的に停止します。

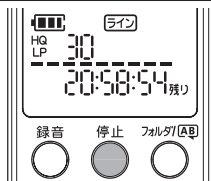
メモ
- 再生中に指定時刻が近付いたときは、指定時刻の1分前に自動で再生を停止し、タイマー録音の待機状態になります。
- タイマー録音を途中で止めるときは、[停止]ボタンを押します。
- タイマー録音中に[録音]ボタンを押して録音を一時停止し、その後、録音を再開した場合は、一時停止していた分だけ録音時間が延長されます。
- 電源をオフにしている場合も、タイマー開始時刻になると電源が入り動作します。タイマー終了時刻になると電源が切れます。

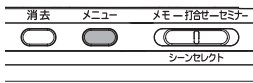
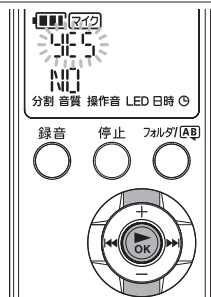
タイマー

録音したファイルを分割する

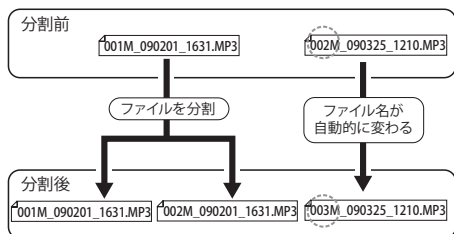
ファイルを途中で区切って分割できます。ファイルを必要な部分と不要な部分に分けたいときなどに便利です。ファイル分割するには、空き容量が必要です。

1 分割したいファイルを再生します。（☞ 25 ページ）

2 分割したいところで [停止] ボタンを押して、再生を停止します。

3 [メニュー] ボタンを押します。

「**分割**」が点滅します。

4 [＋] ボタンや [ー] ボタンを押して「YES」を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

「Ok」と表示されたら、ファイルは分割されました。

ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：001M_090201_1631.MP3 ファイルを分割する。

001M_090201_1631.MP3 のファイルを分割すると、002M_090201_1631.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。

例えば、ファイル名 001M_090201_1631.MP3 を分割すると 001M_090201_1631.MP3 と 002M_090201_1631.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002M_090325_1210.MP3 は 003M_090325_1210.MP3 にファイル番号が変更されます。

- 分割した部分が前後のファイルで重複します。
  重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

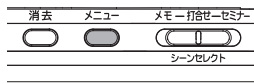
録音モード		重複する時間	ファイル録音時間
MP3	LP(32kbps)	約 8 秒	約 16 秒以上
	HQLP(64kbps)	約 4 秒	約 8 秒以上
	HQ(192kbps)	約 1 秒	約 2 秒以上

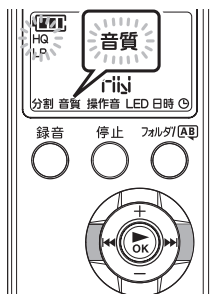
ご注意
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。
- 次の場合はファイルを分割できません。
  - SD カードの空き容量不足
  - ファイル数が最大
  - ファイルの先頭で分割しようとしたとき
  - SD カードがロックされている

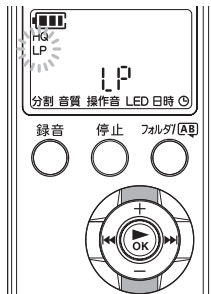
メニューについて

操作のしかた（音質設定の例）

メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。

1 **本機の電源を入れ、停止中に [メニュー] ボタンを押します。**

2 **[⏮（早戻し）] ボタンや [⏭（早送り）] ボタンを押して、設定したいメニュー項目を選択します。**

選択中の項目が点滅します。

3 **[＋] ボタンや [−] ボタンを押して、設定項目を選択します。**

点滅している方が、現在、選択されている設定です。

4 **[▶OK（再生）] ボタンを押します。**

これで設定は完了です。

メニュー一覧

メインメニュー

停止中に［**メニュー**］ボタンを押します。

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

設定

サブメニュー

停止中に［**メニュー**］ボタンを 2 秒以上押します。

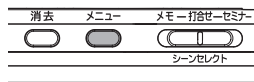
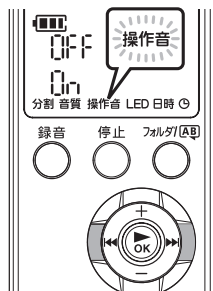
※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

メモ イコライザーは、再生中も設定できます。

その他の機能

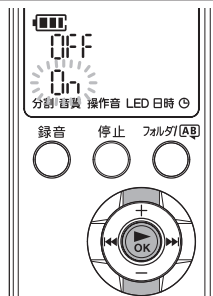
操作音について

本機での操作時に音を鳴らす／鳴らさないの設定が可能です。

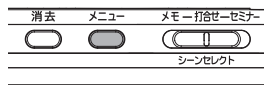
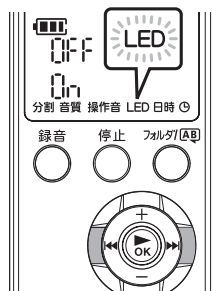
1 [メニュー] ボタンを押します。

2 ［⏮（早戻し）］ボタンや［⏭（早送り）］ボタンを押して「操作音」を選択します。

3 ［＋］ボタンや［－］ボタンを押して「On」または「OFF」を選択し、［▶OK（再生）］ボタンを押します。

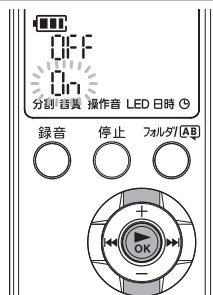
On　：本機を操作時に音が鳴ります
OFF　：本機を操作時に音を鳴らしません

これで設定は完了です。

設定

録音 LED ランプの点灯について

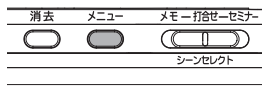
録音中に、録音 LED ランプを点灯させる / させないの設定が可能です。

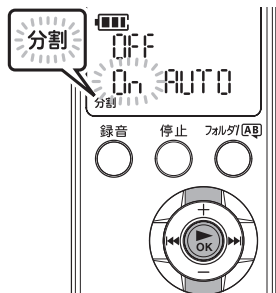
1 本機の電源を入れ、停止中に［メニュー］ボタンを押します。

2 ［⏮（早戻し）］ボタンや［⏭（早送り）］ボタンを押して「LED」を選択します。

3 ［＋］ボタンや［－］ボタンを押して「On」または「OFF」を選択し、［▶OK（再生）］ボタンを押します。

On　：録音中に録音 LED が点灯します
OFF　：録音中に録音 LED が点灯しません

これで設定は完了です。

無音時にファイルを自動で分割する（ライン入力時のみ）

外部機器をつないで録音しているときに、外部機器で再生している音声に音の無い部分が 2 秒以上あると、自動的に録音が停止されます。音が鳴り始めると、別のファイルとして録音が再開されます。

1 **本機の電源を入れ、停止中に [メニュー] ボタンを 2 秒以上、押します。**

2 **「AUTO」と表示されたら、[＋] ボタンや [−] ボタンを押して「On」を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。**

画面左下に「**分割**」と表示されます。

これで設定は完了です。

3 **外部機器から録音します。**（☞ 23 ページ）

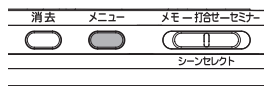
無音による一時停止中は、「**分割**」が点滅します。

メモ
- 無音部分が15秒以上続くと、自動で録音を終了します。
- 設定は電源を切っても保持されます。

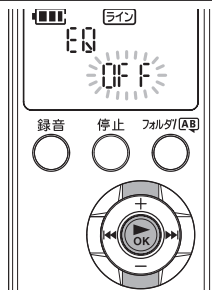
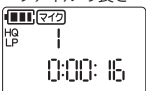
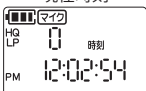
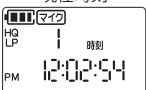
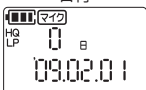
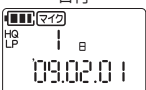
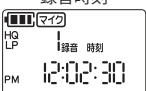
設定

イコライザーを指定する

お好みにより、高音／中音／低音のそれぞれの音量を最適に調整します。

1 本機の電源を入れ、停止中に [メニュー] ボタンを 2 秒以上、押します。

2 「AUTO」と表示されたら、[⏮（早戻し）] や [⏭（早送り）] ボタンを押します。

3 「EQ」と表示されたら、[＋] ボタンや [－] ボタンを押してお好みの設定を選択し、[▶OK（再生）] ボタンを押します。

OFF ：イコライザを使いません。
bASS ：低音域を強調します。
POP ：低音域と高音域をやや強調します。
ROCk ：低音域と高音域をより強調します。
JAZZ ：中音域を強調します。

これで設定は完了です。

4 ファイルを再生します。（☞ 25 ページ）

メモ 電源を切っても、設定は保持されます。

ファイルの情報を確認する

停止中に [**停止**] ボタンを押すと、ファイルの情報が確認できます。

表示順	再生対象ファイル有り	再生対象ファイル無し
1	録音可能残り時間	録音可能残り時間
2	ファイルの長さ	現在時刻
3	現在時刻	日付
4	日付	—
5	録音時刻	—
6	録音日	—

パソコンに録音データを保存する

データの保存手順

本機は録音媒体に SD カードを使用していますので、パソコン側の SD カードスロットや、市販の SD カード / リーダーライターを利用すれば、録音データをパソコンに保存することもできます。

1 **本機の SD カードを取り外し、パソコンの SD カードスロット、または SD カードリーダー / ライターに挿入します。****（☞ 17 ページ「SD カードを出し入れする」）**

2 **パソコンで [マイ コンピュータ] を開き、SD カードを表すディスクドライブ（リムーバブルディスク※）をダブルクリックします。**

※パソコン環境によっては別の名前がついている場合もあります。詳しくはパソコンまたは SD カードリーダー / ライターの取扱説明書をご覧ください。

3 **本機のフォルダが表示されるので、「LINE」フォルダまたは「MIC」フォルダをダブルクリックします。**

ここでは「MIC」フォルダのファイルをコピーする例で説明します。

メモ フォルダ名は、本機での表示とパソコンでの表示が異なります。

	表示されるフォルダ名		
本機での表示	マイク	ライン	ー（※）
パソコン上での表示	MIC	LINE	DATA

※ 「DATA」フォルダにはパソコンのデータを入れられますが、このフォルダは本機では見られません。他のパソコンにデータを移動したい場合などに、このフォルダにデータを入れます。

4 **コピーしたいファイルを右クリックし、表示されたメニューの［コピー］をクリックします。**

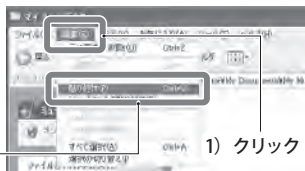
5 ファイルを保存したいフォルダを開きます。

ここでは、パソコンの［マイ ドキュメント］フォルダにファイルを保存する場合を例に説明します。

2）クリック

1）クリック

6 フォルダのウィンドウで、［編集］－［貼り付け］の順にクリックします。

ファイルがコピーされます。フォルダに同じ名前のファイルができたらコピーは完了です。

7 SD カードを取り外します。

お使いのパソコン（または SD カードリーダー / ライター）の取扱説明書を参照してください。

パソコン

パソコンへのデータ保存時の注意

- 本機で録音したファイルをパソコンにコピーしてファイル名を変更すると、本機の元のフォルダ（保存場所）に戻しても、再生できなくなります。次の「ファイル名ルール」に従った名前に変更してください。
  ファイル名ルール
  - 「マイク（MIC）」フォルダの場合：
    3 桁の数字（001 ～ 199）＋ M ＋ _ ＋日付＋ _ ＋時間（時分）＋ . ＋拡張子
    （例：001M_090201_0935.mp3）
  - 「ライン（LINE）」フォルダの場合：
    3 桁の数字＋ L ＋ _ ＋日付＋ _ ＋時間（時分）＋ . ＋拡張子
    （例：001L_090201_0935.mp3）

※ 先頭の 3 桁の数字は、フォルダ内のファイルと連番になるように自動で変更されます。

- SD カードのフォーマット（初期化）は本機で行ってください。パソコンでフォーマットすると、正しく録音できなくなることがあります。
  本機でフォーマットするには、☞ 30 ページ「消去する」を参照して「ALL ERASE」を実行してください。

本書の表記について

お使いのパソコンメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP となります。
その他のバージョンの OS をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

メモ 用語の意味

- **ファイル**
  データのまとまりのことです。本製品では、音声データのまとまりを指します。1つの録音データが 1 つのファイルになります。
- **フォルダ**
  複数のファイルを分類して入れておくための保存場所のことです。本機には「マイク」、「ライン」の2つの保存場所（フォルダ）があり、これらはパソコン上では、それぞれ「MIC」、「LINE」という名前で表示されます。
  また、この2つのフォルダ以外に、パソコンのデータを入れるための「DATA」というフォルダもあります。
- **コピー**
  ファイルやフォルダの複製を作り、別の場所に保存することです。
- **クリック、ダブルクリック、右クリック**
  パソコンの画面上に表示されるアイコンやボタンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの左ボタンを1回「カチッ」と押すことを"クリック"といいます。クリックを素早く2回「カチカチッ」と続けることを"ダブルクリック"といいます。マウスの右ボタンでクリックすることを"右クリック"といいます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

ボタンを押しても反応しない

原因	誤操作防止機能（ホールド機能）が設定されている。
解決方法	誤操作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 （☞ 16 ページ）

「Sd LOCk 」と表示される

原因	SD カードがロックされている。
解決方法	SD カードのロックを解除してください。（☞ 18 ページ）

画面に「-:- -:- -」と表示され再生できない

原因	本機で再生できないファイル形式、またはファイルが壊れている。
解決方法	正常に再生できる mp3 形式のファイルをご使用ください。

「マイク 」または「ライン 」フォルダ内のファイルが再生できない

原因	ファイル名が異なる。
解決方法	本機で録音したファイルをパソコンでファイル名を変更すると、マイクまたはラインフォルダに戻しても再生できなくなります。その場合は、パソコンでファイル名規則に合ったファイル名に修正してください。（☞ 12 ページ）

ファイル分割できない

原因	メモリの空き容量が足りない。または、ファイルがいっぱいである。
解決方法	不要なファイルを消去してください。（☞ 30 ページ）

原因	ファイルの先頭で分割しようとしている。
解決方法	分割したいところまで再生を進めてから、分割してください。

「NO-Sd」と表示される

原因	SD カードが正しく挿入されていない。
解決方法	本機のパワー（電源）／ホールドスイッチを「切」にし、再度 SD カードを入れ直してください。

原因	SD カードではなく、中に microSD カード本体が挿入されていない SD アダプターが入っていた。
解決方法	SD アダプターに microSD カード本体を挿入してから、再度本機に装着してください。

録音したファイルに音とびが発生する

原因	SD カードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした。
解決方法	本機で SD カードをフォーマットしてください。（☞ 30 ページ）

よくあるご質問（Q & A）

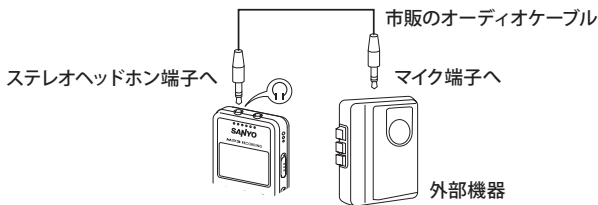
Q：マンガン電池や充電池は使えますか？

A：マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。当社の充電池「エネループ（eneloop）」も使用できますが、アルカリ乾電池に対して電池持続時間は約 70%となります。また、電圧が異なるため、本機の電池残量表示が正しく表示されない場合があります。なお、オキシライド電池も使えますが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ？

A：録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないでください。また、胸ポケットに入れたまま録音する場合は、タイピン式ステレオマイク（別売）のご使用をおすすめします。

Q：録音内容をテープ・MD などに保存するには？

A：市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5 φ）を使えば、本機で録音したファイルを簡単にテープレコーダーやＭＤレコーダなどの外部機器にダビングして保存することができます。

メモ 使用するオーディオケーブル

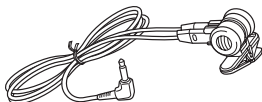
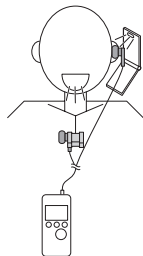
外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ：3.5φ、抵抗入り
音声ライン入力	ミニプラグ：3.5φ、抵抗なし

- ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
- ダビングする時は、事前にためし録音をし、本機で音量の調節を行ってください。
- テープレコーダーやMDプレーヤーから本機への録音も可能です。（☞ 23ページ）

Q:録音可能時間とは 1 つのファイルごとの録音可能時間ですか?

A： いいえ違います。
各録音モードの録音可能時間とは、SD カード内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1 ファイルで録音残時間がなくなるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更しても、それ以上は録音できません。

Q：電話の音声を録音するには?

A： 3WAY ステレオマイク「HM-250」（別売）を使って録音できます。携帯電話や家庭用固定電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。（☞ 22 ページ）

3WAY ステレオマイク「HM-250」

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

ご注意 ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりすると、変質や変色することがありますので、使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

資料

仕様

対応メディア　：SDカード、SDHCカード
SDカードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。当社基準において動作確認済のカードについては、「動作確認済みSD/SDHCカード」（☞ 54ページ）または、当社ユーザーサポートページでご確認ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html

録音モードと録音可能時間

	SD/SDHC カードの容量				
録音モード	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
HQ モード	約5時間30分	約 11 時間	約22 時間30分	約 45 時間	約 90 時間
HQLP モード	約 17 時間	約 33 時間	約 68 時間	約 136 時間	約 272 時間
LP モード	約 34 時間	約 66 時間	約 136 時間	約 272 時間	約 544 時間

※SDカードのメーカー、仕様により、録音時間が短くなることがあります。

録音周波数特性　：60～20,000Hz（HQモード　192kbps時）
60～7,500Hz（HQLPモード　64kbps時）
60～6,500Hz（LPモード　32kbps時）
録音フォーマット　：MP3
再生フォーマット　：MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3）
再生周波数　：40～20,000Hz
サンプリング周波数　：16～44.1kHz
再生対応ビットレート　：16～320kbps
※ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
入出力端子　：ステレオヘッドホン3.5φミニ
ステレオマイク 3.5φミニ
動作温度　：＋5℃～＋35℃
定格出力（ヘッドホン）　：10mW＋10mW（16Ω負荷時、JEITA/DC）
電源　：単4形アルカリ乾電池×1

電池持続時間
・連続録音時間
　HQモード　：　約19時間（アルカリ乾電池）
　HQLPモード：　約29時間（アルカリ乾電池）
　LPモード　：　約33時間（アルカリ乾電池）
　※録音環境　録音LED：OFF、録音モニター：なし
・連続再生時間（ヘッドホン再生）
　HQモード　：　約18時間（アルカリ乾電池）
　HQLPモード：　約27時間（アルカリ乾電池）
　LPモード　：　約29時間（アルカリ乾電池）
・連続再生時間（スピーカー再生）
　HQモード　：　約12時間（アルカリ乾電池）
　HQLPモード：　約16時間（アルカリ乾電池）
　LPモード　：　約17時間（アルカリ乾電池）
　※連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度、使用するSDカードなどによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
　※アルカリ乾電池以外での動作保証はいたしません。

最大外形寸法　：約 幅36.6×高さ96×奥行き13.3（mm）
質量　：約51g（電池含む）
付属品　：単4形アルカリ乾電池　(1)
　：本書（保証書付）　(1)

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

資料

動作確認済み SD/SDHC カード

本機で動作確認済みのSD/SDHCカードは次のとおりです。

● 東芝製 SD/SDHC カード

型番	カード種別	容量
SD-NA512MT	SD	512MB
SD-FA512MT	SD	512MB
SD-B512MT6	SD	512MB
SD-NA001GT	SD	1GB
SD-FA001GT	SD	1GB
SD-B001GT6	SD	1GB
SD-B002GT6	SD	2GB
SD-HC004GT4	SDHC	4GB
SD-HC008GT4	SDHC	8GB

● Panasonic 製 SD/SDHC カード

型番	カード種別	容量
RP-SD512B	SD	512MB
RP-SDR512	SD	512MB
RP-SDQ01G	SD	1GB
RP-SDR01G	SD	1GB
RP-SDQ02G	SD	2GB
RP-SDR02G	SD	2GB
RP-SDQ02G	SD	2GB
RP-SDM04GL1K	SDHC	4GB
RP-SDV04GL1K	SDHC	4GB
RP-SDM08GL1K	SDHC	8GB
RP-SDV08GL1K	SDHC	8GB

● SanDisk 製 SD/SDHC カード

型番	カード種別	容量
SDSDB-2048-J60	SD	2GB
SDSDH-002G-J61	SD	2GB
SDSDH-004G-J61	SDHC	4GB
SDSDRX3-4096-903	SDHC	4GB
SDSDB-8192-J95	SDHC	8GB
SDSDRH-8192-903	SDHC	8GB
SDSDRX3-8192-903	SDHC	8GB

● ハギワラシスコム製 SD/SDHC カード

型番	カード種別	容量
HPC-SD512T	SD	512MB
HPC-SD1GT	SD	1GB
HPC-SD1GT4C	SD	1GB
HPC-SD2GT4C	SD	2GB
HPC-SDH4GT4C	SDHC	4GB
HPC-SDH8GT4C	SDHC	8GB

ご注意

- 512MB〜8GBのSD/SDHCカードが使用できます(2008年11月21日現在)。
- 256MB以下のカードは使用しないでください。
- カードの初期化(フォーマット)は必ずICR-B001Mで行ってください。パソコンや他の機器で初期化したカードは使用できないことがあります。
- 動作確認済み以外のカードを使用すると、音切れが発生したり、電池持続時間が短くなる場合があります。
- 上記の表はすべて、弊社が動作確認を行ったSD/SDHCカードメーカーを紹介するものであり、弊社がお客様にカードの動作保証をするものではありません。各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

保証書とアフターサービス

● この商品には保証書がついています。
保証書の所定事項の記入および記載内容を確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です

・ 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。その他の詳細は裏表紙と 63 ページ「無料修理規定」をご覧ください。
・ 保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により、有料修理いたします。
・ 当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、6 年保有しています。
・ なお保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ販売店へお申し出ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、もよりの「お客さまご相談窓口（☞ 57 ページ）」にお問い合わせください。

修理を依頼される時は…

下記の事項をお買い上げ販売店に、ご連絡ください。

1 故障の状況（できるだけくわしく）

2 品番（ICR-B001M）

3 お買い上げ年月日（保証書に記入）

4 おなまえ、おところ、電話番号

お客様ご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間　9:00 ～ 18:30（365 日）

☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は **大阪 (06)6994-9570** におかけください。

※郵便・FAX でご相談される場合

三洋電機 (株) お客さまセンター

FAX (06)6994-9510

〒 570-8677 大阪府守口市京阪本通 2-5-5

資料

家電商品の修理サービスについてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間 月曜日～金曜日　　　[9:00 ～ 18:30]
（7 月～ 8 月は [8:45 ～ 19:30]）
土曜・日曜・祝日・当社休日 [9:00 ～ 17:30]

東コールセンター

（050- がご利用できない場合は、東京 03-5302-3401 へおかけください）

北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444
関東・甲信越地区	050-3116-2222

西コールセンター

（050- がご利用できない場合は、大阪 06-4250-8400 へおかけください）

近畿地区	050-3116-2555	
中部・北陸地区	北陸	050-3116-2555
	中部	050-3116-2666　沼津地区は050-3116-2222
中国・四国地区	中国	050-3116-2777
	四国	050-3116-2555
九州地区	050-3116-2888	

沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますので、ご了承ください。

お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

資料

持込み修理および部品についてのご相談＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　　月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は下記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

http://www.sanyo.co.jp

北　海　道　地　区			
札　幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函　館	(0138) 48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
旭　川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北　見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧　路	(0154) 22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6

東　北　地　区			
仙　台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市上野字山辺29-5
盛　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
山　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
秋　田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡　山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関東・甲信越地区			
さいたま	(048) 778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　戸	(049) 284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
宇都宮	(028) 684-2551	〒321-0151	栃木県宇都宮市西川田町53-1
つくば	(029) 864-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　戸	(029) 251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
伊勢崎	(0270) 40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
大　泉	(0276) 63-4401	〒370-0524	邑楽郡大泉町古海541-9
新　潟	(025) 285-2431	〒950-0951	新潟県新潟市中央区鳥屋野187-19
長　岡	(0258) 46-8065	〒940-2127	長岡市新産2-8-6
城　東	(03) 5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
城　北	(03) 5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　西	(03) 5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並
武蔵野	(042) 364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
横　浜	(045) 827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
京　浜	(044) 740-3530	〒221-0041	川崎市中原区下小田中5-11-21

平　　塚	(0463) 55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮3-20-60
相 模 原	(042) 788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
千　　葉	(043) 208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌 ケ 谷	(047) 441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
甲　　府	(055) 226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23
中　部　地　区			
名 古 屋	(052) 485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡　　崎	(0564) 23-3418	〒444-0009	岡崎市小呂町字2丁目30番地
岐　　阜	(058) 246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　　岡	(054) 236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼　　津	(055) 935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜　　松	(053) 461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市南区本郷町123
松　　本	(0263) 40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
金　　沢	(076) 292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富　　山	(076) 422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　　井	(0776) 53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
津	(059) 236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2
近　畿　地　区			
大　　阪	(06) 6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大 阪 南	(06) 6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
大 阪 東	(072) 965-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
阪　　和	(072) 258-5001	〒591-8025	堺市北長曽根町3068-5
京　　都	(075) 672-0877	〒601-8135	京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル
福 知 山	(0773) 24-3405	〒620-0062	福知山市和久市町290和久市岩堀ビル2階
奈　　良	(0744) 22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
滋　　賀	(077) 514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24南井産業第3ビルB棟
和 歌 山	(073) 473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
神　　戸	(078) 651-3951	〒652-0813	神戸市兵庫区兵庫町2-2-18
阪　　神	(06) 6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫　　路	(0792) 82-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡　　路	(0799) 42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1
中　国　地　区			
広　　島	(082) 279-0170	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-9-9 協和ビル
福　　山	(084) 954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　　山	(086) 245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101

鳥　　取	(0857) 24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
松　　江	(0852) 23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山　　口	(083) 973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6
四　国　地　区			
松　　山	(089) 979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町2057
四国中央	(0896) 23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2-732-4
高　　松	(087) 843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高　　知	(088) 885-3411	〒781-8121	高知県高知市葛島2-8-9
徳　　島	(088) 699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1
九　州　地　区			
福　　岡	(092) 441-2541	〒812-0016	博多区博多駅南4-6-23
北　九　州	(093) 521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7
久　留　米	(0942) 37-3934	〒830-0038	久留米市西町105-18
長　　崎	(095) 813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
佐　世　保	(0956) 31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096) 388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11熊本トラックターミナル内
大　　分	(097) 543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6組
宮　　崎	(0985) 29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿　児　島	(099) 251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町12-14
沖　縄　地　区			
沖　　縄	(098) 944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部

(171208N)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

裏表紙の保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載に基づき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と保証書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
保証書の★印欄に記載のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
●品番は色記号を省略しています。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 保証書の提示がないとき。
   ヘ. 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗部品(例えば電池など)の交換。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、三洋電機お客さまご相談窓口(☞ 57ページ)をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合せください。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

● 裏表紙の保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または三洋電機お客さまご相談窓口(☞ 57 ページ)にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは 56 ページをご覧ください。

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー　国内販売担当

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

URL：http://www.sanyo-audio.com/support/index.html

(JP0)

1AJ6P1P0056--